



社会福祉法人 愛知いのちの電話協会

愛知いのちの電話

<https://www.nagoya-inochi.jp/>


子どもや若者の自殺予防のために

南山大学社会倫理研究所 森山 花鈴

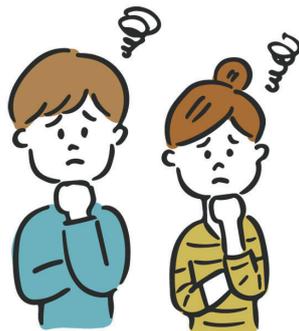
「アンコンシャスバイアス」という言葉があります。「無意識の思い込み」とも訳される言葉ですが、私たちは普段、自分の経験をもとに、その人の声、話し方、外見などから無意識にその人の性格や生き方を推測して生きています。もしかすると、相談員の皆さんには、ベテランになればなるほど「電話をかけてくる人にはこういう人が多い」という思い込みが知らず知らずのうちにあるかもしれません。けれど、たとえば、若いからといって悩みが少ないわけではないですし、逆に若いから周りの大人たちから理解されずに苦しいこともあります。これは私が大学教員になって常々思うことなのですが、自殺対策の活動を始めてから、私は若い人たちにとって「程よい距離感の大人」でありたいと思うようになりました。親や担任の先生は「縁を切る」ことがとても難しい。その代わりに、「匿名」の皆さんや私のような立場の人間とはいつでも縁を切ることができます。だから逆に「死にたい」思いも含めて言いたいことを言える側面もあるのではないかと。

「若い人たちは…」と我々は主語を大きくして言いがちですが、若かった時の私たちはそれがとても嫌だったはず。「若者はこうであるはずだ」という決めつけではなく、私は目の前の若い人たちが何で悩んでいるのか、耳を傾けられる大人でありたいと思っています。ある時、ブラックバイトで悩んでいる若者に言われたことがあります。「世の

中にはブラック企業がたくさんあると聞いています。だから、ブラックバイトにも耐えられないと将来が不安なので頑張ります」と。私たちは、不安をあおる発言ばかりして気づかないうちに大切なことを伝え忘れていないでしょうか。

「夏休み明けの自殺者が多いから対策をしよう」と夏休み直前に言われることも多くあります。たしかにそれはとても大事なことです。ただ、私は夏休み前だけでなく、自殺を考えるようになるもっと前からの声かけや傾聴、対応が重要なように思うのです。また、「SOSの出し方教育」の重要性が言われるようになって数年が経ちましたが、本来これは「SOSの受け止め方」「SOSの気づき方」があって初めて成り立つものだと思っています。「SOSを出したくても出せない」「危機的状況にあることに気付くことができない」若者たちにどう気付けるか、そこが重要なように思っています。全国のいのちの電話では、相談員として大学生を研修に受け入れるかどうかは判断が様々であると伺っています。相談員にすぐにはなれなくても、若者から「若者の今」を学ぶ場があっても良いのではないかと今

日この頃です。私自身は、研究者としてはまだ「若手」ですが、世間では「若者」と呼ばれなくなってきました。「若者」の気持ちを持ちつつ、世代にとらわれず皆さんと悩んでいる人に向き合っていくことが出来ればと思っています。



「愛知いのちの電話」 40年小史①

「愛知いのちの電話」は、2025年7月開局40年を迎えます。1983年7月には、第1回名古屋いのちの電話設立懇談会が、栄の日本キリスト教団名古屋中央教会で開催されましたので、今年は42年目に入っていることとなります。また1984年6月には、設立準備号として、機関紙0号が発行されています。1984年10月の機関紙1号の記事を紹介します。

いわゆる人生相談（電話・新聞・ラジオ・面談などいろいろありますが・・・）の多くは、知識も経験も豊かな人生の達人が、悩める人々に適切な解答を与えるものです。（中略）

いのちの電話はこれらの人生相談とは少々趣きを異にしています。悩める人々に解答を与えることよりも、一緒に悩む姿勢を大切にしているのです。（中略）悩める人々に代って解決してあげるのではなく、悩める人が自分で解決できるよう援助しようとするものです。いのちの電話は見知らぬ人の心の友にな



1996年 第17回 全国研修会 名古屋大会

ろうとするものです。ですから、経験や知識ばかりでなく、より良い人間関係を作るために開かれた心が必要なのです。

（小川義雄事務局次長の原稿より）

40年のあゆみを少しずつご紹介し、40年続いできた「いのちの電話」をふりかえる中でご協力・ご支援いただいた皆さまに感謝し、次の40年に向かう第1歩にしたいと思います。

- 1983年 11月 名古屋いのちの電話設立準備会 開催(名古屋中央教会) 80名参加
- 1984年 4月 事務局開設 (聖霊病院 マリア館 2階)
- 5月 第1期相談員養成講座 開講
- 1985年 5月 開局記念コンサート 開催 (愛知文化講堂) 1,300名参加
- 1985年 7月 1日(水) 開局(10～22時) 相談員:53名
- 1986年 5月 事務局 みこころセンター 4階へ移転
- 1987年 6月 チャリティーコンサート(愛知文化講堂) 1,800名参加
「由紀さおり・安田祥子の童謡コンサート」
- 1987年 11月 公開講演会「狐狸庵先生大いに語る:遠藤周作さん」(名古屋市公会堂) 1,000名参加
- 1989年 2月 「チェリッシュ」チャリティーコンサート (愛知文化講堂)
- 1989年 9月 ニューヨーク・ハーレム・ゴスペルコンサート(五反城教会)
- 1990年 2月 社会福祉法人として愛知県より認可
- 1990年 10月 日本自殺予防シンポジウム名古屋大会 (愛知県産業貿易館)
- 1995年 開局10周年記念 イベント・行事
- 1996年 11月 いのちの電話全国研修会名古屋大会 (名古屋国際会議場)
- 1999年 4月 中区の赤門ビルに移転
- 1999年 5月 24時間受信開始(眠らぬダイヤル 発足)
- 2001年 12月 フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」 開始



童謡コンサート



講演する遠藤周作さん

開 講 予 告

33期 電話相談員養成講座 2025年5月開講

詳しくは、2025年2月ごろ養成講座の募集要項ができますのでご覧ください。

愛知いのちの電話協会のHPにも、申込書とともに掲載されます。お問い合わせ・資料請求は、事務局までお願いします。

相談員のための公開講座

1年にわたる相談員養成講座を終えて、相談員が認定されるシステムはご存知の方も多と思います。しかし相談員の皆さんは認定されたからといって、研修・自己研鑽が終了するわけではありません。1年目の相談員は、「初期研修」を1年間、2年目以降のすべての相談員は、「継続研修」と「スーパービジョン」によって、相談員としての資質の維持・向上に努めています。

2024年度は、14のグループのいずれかに所属し、年間8回以上各分野の専門家による研修と自主的な学習を「継続研修」として実施しています。中でも8回の内1回を「公開講座」として行い、ご自分の所属グループ以外の講座を受けられるシステムとしています。ボランティアの相談員は、見識を深めることはもちろんですが、未知の分野へのチャレンジもできるシステムです。相談員によっては、1年に自分のグループ以外に、4～5講座を受けられる方もおられます。他の相談員や講師との交流、仲間同士の支えあいや情報交換の場でもあり、それぞれの

学びの場を広げています。

これらの講座の実施においては、「愛知いのちの電話協会」に寄せられる貴重な補助金・賛助会費・寄付金を活用させていただいており、相談員のモチベーションを保つ大切な機会となっています。

(事務局より)

公開日	講師	テーマ
2/15	石田妙美	「ケースから共に学びましょう」
11/9	大山 卓	「発達障害を考える」
10/11	小野智子	「若者の現状」
9/10	兼田智彦	「精神障がい者の理解」—当事者の話—
11/21	川出英行	「緩和ケア領域における心理的援助」
2/5	川島大輔	「触れる、表す、聴く～悲しみに気づき、寄り添うためのセンス～」
11/10	來多泰明	「こころの病を持った人への電話相談」
9/24	木下宏明	「遺族支援の活動をする中で」
11/20	下野谷順子	「裁判を傍聴しよう」(見学)
2/17	長瀬治之	「ワクワクする電話相談を目指してIII」
1/22	平山太日子	「災害時のメンタルヘルス」
12/2	三和啓二	「インシデントプロセス法」
11/1	山本秀樹	改めて「サマリタン」を考える

電話相談ボラの片隅で「はちのひカフェ」

毎月8日の夜、ポツポツと相談員が集まり、ほんとなわいもない会話を一時間半しています。これが昨年7月から始まった「はちのひカフェ」。11月8日に17回目を迎えました。参加者が誰もいない日もあるかなと思いきや、幸いな事に今のところそれはなかったです。話題は様々ですが、概ね電話相談活動中のエピソードから始まり、あらぬ方向へと話は発展していくゆしさがあり、染み染み考えるきっかけとなっていたりするのではないかと、様子を見て、また我を振り返って、勝手に思っています。

そもそもこのはちのひカフェが始まったのは、一相談員の私の「みんなと話したい、何でもない話でいいから何を考えているとかか・・・」そういう希望のもと、ベルの会(注)スタッフの皆さんに相談し同意を得られたところからでした。

「月一、いつにしようか?」

「私は個人的に8が好きだから八日はどう?」

「いいじゃない『はちのひ』」

「コーヒー出さないけど、カフェでいいか?」
とりあえずやってみよう
と始めたわけです。

相談員とただの人、日々の暮らしがあり勤めがあり、それぞれの課題を抱えていることでしょう。もちろん私もその一人です。忙しい時間の中でも、様々話し合っただけで聞き合っていく中で、細くて見えないような、けれど決して切れない絆を心の根底で自然に結べたら・・・。そんな関係性を持つ仲間が在れたら、悪くないなと思いました。

参加したい時にふらっと来てもらえるような場として「はちのひカフェ」は、細く長く何気に存在していればよいなと思っておりますので、よろしくお見知りおきを!

(注)ベルの会:電話相談員主体の会で全相談員が会員になっています。



ご援助
ありがとう
ございます

2024年6月1日から10月31日までに下記の方々から温かいご支援をいただきました。一同、深く感謝いたしますと共にご報告を申し上げます。(順不同・敬称略)
なお、上記期間内に何度もご支援くださった方もお名前は1回にさせていただきます。

法人賛助会員・寄付協力団体

愛知株式会社	一般財団法人 愛知健康増進財団	アサダ株式会社	あすてボランティア
阿部建設株式会社	天野エンザイム株式会社	石塚硝子株式会社	株式会社 一柳葬具總本店
NTP ホールディングス株式会社	株式会社 大林組名古屋支店	大矢建設株式会社	オリエンタルビル株式会社
鹿島建設株式会社 中部支店	株式会社 加藤建設	川北電気工業株式会社	近喜商事株式会社
株式会社 沢野商会	株式会社 三晃社	清水建設株式会社名古屋支店	昭和興行株式会社
株式会社 杉浦製作所	株式会社 鈴波	住友商事株式会社中部支社	株式会社 青雲クラウン
専念寺	大日コーポレーション株式会社	瀧定名古屋株式会社	武田機工株式会社
中京車体工業株式会社	中京総合警備保障株式会社	中部電力株式会社	中部土木株式会社
株式会社 デンソー	東海テレビ福祉文化事業団	株式会社 豊田自動織機	豊田通商株式会社
トヨタ不動産株式会社	公益社団法人 名古屋中村法人会	日本基督教団 鳴海教会 婦人会	株式会社 日建設計
株式会社 ニッショー	株式会社 日東建設	野村證券株式会社	株式会社 ヒメノ
福玉精穀倉庫株式会社	ホーユー株式会社	万能工業株式会社	株式会社 みどり造園
南青山皮ふ科	名和電子株式会社	矢作建設工業株式会社	養念寺

賛助会員・寄付者

青木恵子	秋田あや子	浅井俊雄	栗田昌子	飯塚悦子	家城由香	井坂津矢子	井澤陽子
石原頼子	井代佳明	伊藤秀樹	今枝靖夫	岩川富子	岩城正光	岩田久夫	江崎好美
大久保義美	大野智彦	岡田文子	尾関めぐみ	片桐清志	加藤明宏	加藤厚子	加藤綾子
兼田智彦	亀谷みどり	川上直美	菊池幸子	小坂橋秀行	小島初江	小谷充子	五藤祐子
小松 徹	子安崇雄	近藤修司	酒井裕子	坂本清則	坂本精志	佐々木広子	佐藤かおり
塩田 保	志賀雅彦	島津 通	下村徹嗣	白石昭喜	杉田雅啓	鈴木 豊	鈴木栄子
鈴木那夫美	鈴木ひろみ	諏訪昭子	千田まなみ	高橋勝人	高橋紀代子	高橋雅英	田中丸富紀子
田畑洋子	塚本陽子	豊田絢子	中島公子	長縄年延	中野悦美	野田義行	埜村雄治
長谷川秀子	秦 智宏	花井早江子	林 慎一郎	原崎周平	坂東信吾	平井瑞子	平尾 泉
北條献示	堀江和史	本田聡子	牧野愛子	松本勝正	水谷洋一	宮崎みさな	深山 靖
森岡 隼	森岡いつ子	柳澤幸輝	山田厚志	山田敦代	山本秀樹	湯瀬美知子	吉岡満智子
吉田篤司	渡邊 徹	渡辺直人	匿名7名				

個人 クリスマス募金・歳末募金

石園和枝

- (1) 法人賛助会員 (年間1口) A20万円・B10万円・C5万円
- (2) 個人賛助会員 (年間1口) A 10,000円・B 5,000円・C3,000円
- (3) 一般寄付を随時受け付けております。
- (4) 歳末・クリスマスの特別寄付を随時受け付けております。
 口座名 : 社会福祉法人 愛知のちの電話協会
 銀行口座番号 : 三菱 UFJ 銀行大津町支店 (普) 0477029
 郵便振替口座 : 00810-8-53758
 会費及び寄付金は、社会福祉法人として税法上優遇措置が受けられます。

毎年、ご寄付を続けていただける賛助会員を募集しています。ご協力をよろしくお願いいたします。
年間の賛助会費や一般寄付を随時受け付けておりますので、振込用紙を同封させていただきます。
(除く 法人賛助会員)